



昼食時ににぎわう道の駅

第3回定例町議会が9月6日から21日まで開会され、一般会計および特別会計決算の認定等が可決されました。決算の概要は、次のとおりです。

平成17年度 一般会計決算の 概要

歳入決算額 38億3,945万円

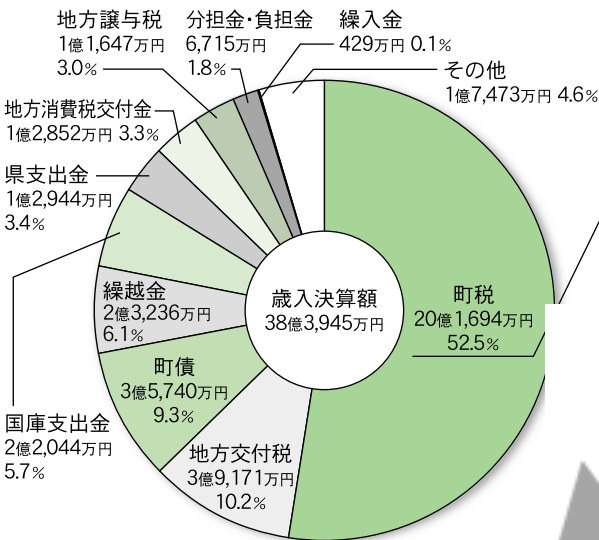
歳入

歳入決算額は、繰越事業費を含めて38億3,945万円。前年度決算額50億5,797万円に比べ24.0%（12億1,852万円）の減額となりました。

歳入の主な特徴点として、町税は固定資産税が減少したものの、個人所得割が配偶者特別控除の上乗せ分の廃止や公共事業の用地売却等で増加、法人税割が主に製造部門の業績が好調なことから増加しました。

また、国の三位一体改革で地方財政計画の規模が抑制されたことや町税の増加により、地方交付税および臨時財政対策債が大幅に減少しました。

さらに、町道9号線の緊急地方道路整備事業の国庫支出金および町債は増加したものの、中学校校舎の耐震改築事業および道の駅整備事業の完了により、全体としては国・県支出金および町債がともに大幅な減少となりました。

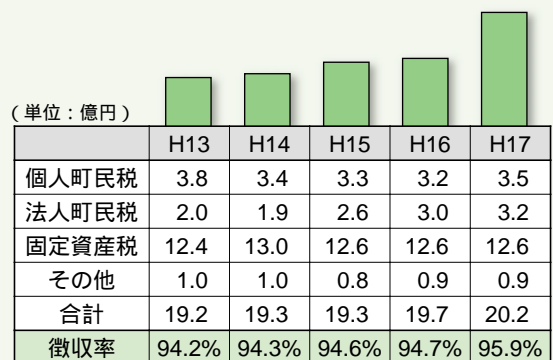


- 個人町民税 3億4,497万円
- 法人町民税 3億2,448万円
- 固定資産税 12億6,142万円
- 軽自動車税 1,742万円
- 町たばこ税 6,865万円



町税の推移

歳入の半分を占める町税は、わずかながら上昇し、8年ぶりに20億円を超えました。また、平成16年度の徴収率は、県内44市町村中第2位で、全国平均92.1%よりも高いポイントになっています。町では、今後も徴収率UPを目指し、自主財源の確保に努めます。



国民健康保険税を除く。

決算額を人口で割り、1人当たりを家計に例えたものです。(単位: 円)

支出		収入			
食費 (人件費)	89,098	自主財源	給料 (町税)	201,312	
医療費 (扶助費)	27,592		パート収入 (使用料、分担金等)	14,045	
ローン返済 (公債費)	41,398		定期預金の解約 (繰入金)	428	
住宅増築工事 (普通建設事業費)	29,383		前月からの繰越 (繰越金)	23,192	
生活費 (光熱水費、物品購入費など) (物件費、補助費等)	109,655		小計	238,977	
車検、家の修繕費 (維持補修費)	1,681		依存財源	親からの仕送り (地方交付税、国庫支出金等)	108,568
子供への仕送り (繰出金)	54,877			ローン借入 (町債)	35,672
貯金 (積立金、投資及び出資金、貸付金)	3,652			小計	144,240
合計	357,336		合計	383,217	

(住民基本台帳人口10,019人 平成18年3月31日現在)